

## 会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		令和5年度 第1回豊島区行政情報化推進本部
事務局(担当課)		政策経営部情報管理課
開催日時		令和5年5月31日(水) 13:00～14:55
開催場所		庁議室(本庁舎5階)
議 題		<p>議案</p> <p>(1) 令和5年度情報セキュリティ監査計画について</p> <p>(2) 次期電話システムの検討について</p> <p>(3) 新総合防災システムシステムについて</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 基幹系業務システムの標準化の進捗について</p> <p>(2) 公共施設のあり方検討PTの進捗について</p> <p>(3) 豊島区情報システム管理運営規則の一部改正について</p> <p>(4) 令和5年度ICT研修実施計画の策定について</p>
公開の 可否	会 議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 行政機関における政策意思決定過程途上に位置付けられる会議であるため
	会議録	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 行政機関における政策意思決定過程途上に位置づけられる内容を含むため
出席者	部 員	副区長(本部長)、政策経営部長(副本部長) 総務部長、区民部長、保健福祉部長、子ども家庭部長(代理)、企画課長、行政経営課長、危機管理監、防災危機管理課長、情報管理課長
	事務局	情報担当係長(管理)、情報担当係長(システム第一)、情報担当係長(システム第二)、情報担当係長(デジタル化推進)、情報担当係長(情報システム標準化)

本部長 令和5年度第1回行政情報化推進本部を開催します。

### 議案（1）令和5年度情報セキュリティ監査計画について

〔事務局：「【議案1】令和5年度情報セキュリティ監査計画について」を説明〕

要旨：毎年度情報セキュリティ監査を実施しており、昨年度からは4年分の監査計画を策定している。今年度も改めて計画を見直したうえで監査を行いたい。改善点等を説明するので承認いただきたい。抜き打ちやヒアリング、委託監査については、不適合の件数も減り、全体としてセキュリティレベルの向上が確認できた。一方で、令和4年度から開始した情報システム監査では6件指摘があった。不適合が多かった情報システム監査において、今年度は重点的に監査を行う。

本部長：監査で見つかった課題について、ヒューマンエラーか、システム上の問題かの区分はありますか。

事務局：テスト環境以外については対応しようと思えば対応できるものとなります。

本部長：テスト環境についてはどう対応しますか。

事務局：テスト環境については次回のシステム更新時に変更する等の対応となります。

—議題について案のとおり承認—

### 議案（2）次期電話システムの検討について

〔事務局：「【議案2】次期電話システムの検討について」を説明〕

要旨：2025年10月に現行の電話システムが廃版となるため、廃版以降どうするかを検討が必要となる。現行システムはIP電話で多機能であり、職員の働き方も飛躍的に進化した。現行システムのメリットとしては、多機能なこと、同時発着信が可能なことや、テレワーク時でも通話可能なことが挙げられる。デメリットとしては、音声品質が不安定なこと、システムに異常があると、電話にも影響があることがあるが、チューニング、アナログ電話を配布する等でデメリットを緩和している。三つの進め方の方針について議論したい。案は①IP電話型、②アナログ電話型、③スマートフォン活用型。それぞれの相対評価については資料のとおり。②については信頼性は向上するが、利便性は大きく低下するほか、回線を引く必要があるため、緊急で本部等を立ち上げる場合、柔軟性が失われる。③についてはPC、電話を分離できるというメリットがあるが、ダイヤルインが使用できないため、係代表が使用できない。そのため区民への影響が大きいという点、コストが高くなる。案①が比較的メリットが多く、デメリットも小さいため、事務局としては現状と同様のIP電話型を次期でも使用したい。

本部長：みなさんから意見を聞きたいです。総務部長からお願いします。

部員：案①がいいと思います。他に選択の余地がありません。

部員：案①は区民影響が少なく、大きくデメリットもないため、案①です。

部員：案①でいいと思います。案③は区民への影響。代表にかけるとコールセンターにかかるイメージで運用上の工夫はできませんか。

部員：コールセンターの大代表は可能ですが、係の電話がなくなってしまうため、変化が大きくなります。

部員：案③はコストも高いので案①とは思いますが、デメリットを解消できる考え方はないのかと思います。

部員：結論は案①です。ビデオ通話は日常的に使用しますし、ちょっとしたことはチャットの方がスムーズです。それがなくなるのは利便性が大きく落ちます。案③も惹かれるところがあります。現状は管理職しかスマートフォンを持っていないため、職員は自分の携帯で仕事のやりとりをせざるを得ません。通話料も個人が負担する形になっています。全員でなくとも、ある程度スマートフォンを使用できるといいと考えます。

本部長：各課に予備があるといいかもしれません。

部員：案①です。案③について、昨年度ワクチン関係で土日も頻繁に電話を使用する機会があったため、電話をレンタルして使用したことがあります。業務用のスマートフォンがあってもいいのではと思います。案①を案③の一部型で補足するような選択もあるのではないのでしょうか。

部員：案②はテレワークができなくなる等、時代に合っていないと思います。案③は一般職員もスマートフォンを持つのは、抵抗もあるのでは。いつでも電話がかかってくるという点で、少しハードルが高いです。案①は使いやすいため、案①がいいと思います。

部員：案①がいいと思います。実際に使用してみないとわからない点もあるので、使ってみたいと思います。

部員：案①は音声も是正されており、BCP対策もアナログ電話が入っているため対応可能です。バランスのいい案①でお願いしたいと思います。機能的に落とすことは事務効率の低下にも関わります。スマートフォンについては、部に一台、課に一台等の方法もあると思うので、これとは別に検討をしたと思います。

本部長：意見を聞くと①が多いようです。新しく庁舎を作っているところは①の方式に変わっていますね。

事務局：渋谷区と中野区が IP 電話を導入しています。

本部長：チャットも非常に便利です。各課に予備のスマートフォンを用意というのは前向きに検討したいと思います。意見を踏まえ案①ということで決定したいと思います。

—議題について案のとおり承認—

### 議案（3）新総合防災システムシステムについて

〔部員：「【議案3】新総合防災システムシステムについて」を説明〕

要旨：現行総合防災システムの更新時期が過ぎ、機器の故障が目立ってきたため、更新するための予算を令和6年度当初での計上を目指してかけるものである。現行システムの課題としては無線、電話による情報収集、システム入力等多くの手が必要で初動対応が遅れる可能性がある点、操作性が悪く、情報収集・分析・発信に時間を要する点、導入より8年が経過し、機器類の保守期限が到来している点が挙げられる。方向性としては、人的資源の有効配置、正確・迅速な情報発信、クラウド化により、有事に備え、誰もが安全・安心に暮らせるまちを目指すことである。令和6年8月に構築を始め、令和7年度の4月より運用開始と考えている。

部員：システムの期限が切れている中で、少しでもいいものという検討をしています。現行システムの場合、入力訓練を行っていますが、新システムだと初めてでも使えます。SNSでの情報を自動的に収集することもできます。

本部長：システム上に収集した情報は、本部だけでなく、各部で閲覧可能ですか。

部員：全職員が同じものを見ることができます。

部員：契約方法が心配です。半額になるのはどういう理由ですか。

部員：現在は機器をリースしているため高額となります。

部員：導入している自治体はわかりますか。

部員：23区で10区が当該のシステムを導入しています。

部員：このシステムへの思い入れがあるのはわかりませんが、他と比較し、こういった優位性があ

るのかという点が少しわかりづらいです。最終的にはプロポーザルで適正に選定するでしょうが、新規拡充事業の査定としてそのあたりの資料がいただきたいです。

本部長：本会議も引き続き行われるので、ほかのシステムとの優位性をまた説明いただきたい。引き続き検討をお願いします。

—議題について案のとおり承認—

### 報告事項（１）基幹系業務システムの標準化の進捗について

〔事務局：「報告事項（１）基幹系業務システムの標準化の進捗について」を説明〕

要旨：令和４年１０月に標準化基本方針が閣議決定され、令和７年度末までに窓口基幹系１８事務の標準システム移行が地方公共団体の責務と明文化された。令和４年度より各部局より構成される部会にて検討を進めてきたが、昨年度の作業目標に到達しないものもあった。今年度の新規拡充事業の中で、Fit&Gap という工程について業務委託を含めて予算化され、作業を進めている。上半期でFit&Gapを完了しつつ、移行計画、来年度の予算要求が今年度中に必要となる。システム移行に最低でも１８か月程度必要とされているため、逆算すると、来年度早々に動き出す必要がある。そのほか、保健福祉部会の中で、区単独事業や都単独事業についてどのように処理していくか、都にてワーキンググループを設置し共同研究を行っている。

（質疑なし）

### 報告事項（２）公共施設のあり方検討PTの進捗について

〔事務局：「公共施設のあり方検討PTの進捗について」を説明〕

要旨：施設予約システムにおいて、予約や支払を行っている。今年度１０月にバージョンアップを行う。クレジットカード払いに対応することにより、支払、利用当日と二回必要であった来所が一度になる。インボイス制度にも対応する。公共施設のありかた全体を考える目的でPTが昨年度立ち上がり、実務担当者部会でも打ち合わせを進めている。検討結果として、利用者IDの統一については課題があるが導入可能、標準ルールの策定は今回の中では検討を見送る。クレジットカードの運用開始は運用課題があるため、来年度の４月からということを進めている。

（質疑なし）

### 報告事項（３）豊島区情報システム管理運営規則の一部改正について

[事務局：「報告事項（３）豊島区情報システム管理運営規則の一部改正について」を説明]

要旨：個人情報保護法の改正の関係により豊島区個人情報等の保護に関する条例が廃止されたため、豊島区情報システム管理運営規則上の条例に関する記載や「個人情報等」という表記について修正を行う。

(質疑なし)

#### 報告事項（４）令和５年度ICT研修実施計画の策定について

[事務局：「報告事項（４）令和５年度ICT研修実施計画の策定について」を説明]

要旨：昨年３月末に総務省のセキュリティポリシーガイドラインが改定されたことに合わせて、昨年８月に豊島区情報セキュリティポリシーを改定した。改定されたガイドラインの中で情報セキュリティに関する研修計画を策定することが望ましいという一文が追加された。その関係で今年度より「令和５年度ICT研修実施計画」として初めて策定した。主に外部機関を利用したe-ラーニングや当区のe-ラーニングを使用した情報セキュリティ研修や寺子屋ICTプロジェクト等が盛り込まれている。

(質疑なし)

[13:55 終了]

提出された資料等	資料１ 令和５年度情報セキュリティ監査計画について 資料２－１ 次期電話システムの検討について（概要） 資料２－２ 次期電話システムの検討について（詳細） 資料３－１ 新総合防災システムについて 資料３－２ 発災時の総合防災システムの活用について 資料４－１ 基幹系業務システムの標準化の進捗について 資料４－２ システム標準化全体進捗表 資料４－３ 総務省標準化移行経費調査 資料５ 公共施設のあり方検討PTの進捗について 資料６ 豊島区情報システム管理運営規則の一部改正について 資料７ 令和５年度ICT研修実施計画の策定について
----------	---